



金沢真宗学院 移動研修会 親鸞聖人の「流罪」を尋ねる

親鸞聖人の「流罪」を尋ねる

9月6・7日の一泊二日、親鸞聖人の流罪地である上越を訪ねる真宗学院の「移動研修会」が行されました。

の方々にどれだけ大きな影響を与えたのかを表し、後世の私たちにまでその事を伝えるためにとられた形であるのだろうと感じました。



教区同朋総会(金石潤導氏)

現代社会において、私たち人類は人としての共同体でありながら「場」というものを徐々に軽んじてきたのではないでしようか。しかしそれは、人が人間として生きていくために必要なものであると今回の同朋総会で再確認できたように思います。寺院に携わる者としてどのようなことがでるべきのかを考え続けていくことが大切であると思いました。

男女共同参画推進小委員会

男女共同参画推進小委員会

女性僧侶のつどい 開催

む中で、寺が地域のつながりや交流の場になるよう、どのように工夫したらよいのか、女性として、夫に向き合う中での不安や悩み。そして、寺の継承問題等で、門徒方にはまだまだ男性優先の意識が根強く残っている事など、どの課題も、私自身の問い合わせられていました。

世代や社会が変わり、性別・ジェンダーなど、新しい認識や多様な価値観が少しずつ受け入れられるようになつてきました。今回の一連の研修を通じて、自身の不安や悩みをお互いに語りあうことによって、これまで漠然としていた自分の現実をスタート地点として受けとめることができた気がします。聞法は男女を問いません。その平等な世界が早く開かれればいいなと思いました。



ゑしんの里記念館「恵信尼石碑」前にて

金沢教区同朋総会 開催

今現在その場所を護っている方々が、親鸞聖人の流罪での生活を深く受け止め大切に伝え続けられてくださつている証であると感じ、自身の親鸞聖人の流罪についての捉え方は非常に浅いものであつたのではないかと考えさせてくれました。これまで、そして

9月18日、金沢真宗会館ホールにて「金沢教区同朋総会」が行われました。

総会は二部構成で、前半は講師



龜塚菜津子（第十一組 專信寺）